

## ホットニュース Hot News

### ◎「ふるさと」について知りたいなら、図書館へ！

田原市の歴史や祭り、農業、植物など、自分の住むこの地域のことを「もっと知りたい！」と思ったことはありませんか？

中央図書館にある郷土研究室には、本市だけでなく東三河、愛知県に関連した資料があり、ふるさとについて調べたい時に役立ちます。渡辺華山や糟谷磯丸などの郷土の偉人に関する資料や、杉浦明平、山田もと、オアシズのお二人など、本市出身の方が書かれた小説やエッセイなども豊富に取り揃えています。



▲中央図書館の郷土研究室

また、この部屋は、静かな環境で読書や勉強ができる「静けさコーナー」にもなっています。ぜひ一度足を運んでみてください！

### オスナの本



#### ブランケット・ブルームの星型乗車券

吉田篤弘／絵と文 幻冬舎

寒がりな小さな街「ブランケット・シティ」この冬あなたも、デイリー・ブランケットを手に架空の街を旅してみよう。



#### 「わくねこ」の作り方

Sachi/著 KADOKAWA

猫の写真を入れた額？実はこの猫、羊毛フェルトで出来ています。手芸好きな方、ぜひ挑戦してみてください。

## History Inquiry Club 眞の228 歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720  
吉胡貝塚資料館 ☎22-8060  
渥美郷土資料館 ☎33-1127

博物館HP 博物館インスタグラム



### 不思議な鉄製馬形

渥美半島では古墳時代終わり頃にたくさんの古墳が造られました。ここからは須恵器、鉄製品、装身具など様々な副葬品が見つっていますが、実はその中に、全国的に見てもとても珍しいものがあります。それが、衣笠校区にある栄巖古墳から見つかった「鉄製馬形」です。この鉄製馬形は、鉄で馬を表現してつくられた铸造品で、全長11.2cm、高さ5.4cm、幅4.3cmの手のひらに乗るぐらいの大きさです。

馬が朝鮮半島から日本にやってきたのは古墳時代からと言われており、この時代には馬がとても貴重でした。そのため、古墳から鉄製馬



▲栄巖古墳出土の鉄製馬形

具など馬に関係する遺物が出土した場合には、埋葬者の地位の高さが窺えます。栄巖古墳から出土した鉄製馬形を観察してみると、左後脚の先端や尻尾が

欠けていますが、馬の背中に人が乗るための鞍などの馬具がしっかりと表現されています。馬をよく知る知識人が製作に関わっていたのでしょうか。似た形の鉄製馬形は、日本では数例しか見つかっておらず、主に朝鮮半島で見ついていることから、この時代の渥美半島にも、大陸とのつながりがあったのかもしれないと考えると、興味深いです。

鉄製馬形は出土例が少なく、不明な点が多くありますが、栄巖古墳に葬られた人は、このような特殊な製品を手に入れることができるほどの地位の高い人であったと推測できます。今後、この鉄製馬形が、何の目的で、どこから手に入れられたのかが判明すれば、栄巖古墳や古墳時代のこの地域の歴史が更に解明されるかもしれません。(学芸員 清水俊輝)



▲衣笠校区にある栄巖古墳